



2023年4月28日

各位

会社名 蝶理株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 先濱 一夫  
 (コード: 8014 東証プライム)  
 問合せ先 経営管理部長 河村 泰孝  
 (TEL. 03-5781-6201)

**連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ (開示事項の経過・変更)**

当社は、2022年4月28日に開示しました「連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」及び、2022年7月26日に開示しました「連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ (開示事項の経過)」において、当社の連結子会社である蝶理マシナリー株式会社(以下、「蝶理マシナリー」といいます。)がアラブ首長国連邦の取引先に対して有する売上債権に取立不能又は取立遅延のおそれが生じていることを開示しました。当該開示後の経過・変更について以下のとおりお知らせいたします。

1. 当社子会社の概要

(1) 名称	蝶理マシナリー株式会社
(2) 所在地	東京都港区港南二丁目15番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 速水 淳
(4) 事業内容	輸送機器の販売
(5) 資本金	100百万円 (出資比率100%)

2. 当該取引先の概要

(1) 名称	PLATINUM CORPORATION FZE (以下、PLATINUM)	RELIANCE COMMODITIES DMCC (以下、RELIANCE)
(2) 所在地	アラブ首長国連邦 ドバイ首長国	アラブ首長国連邦 ドバイ首長国
(3) 代表者の役職・氏名	代表者 SUNIL VASWANI	代表者 SUNIL VASWANI
(4) 事業内容	総合商社	投資業
(5) 資本金	1,000,000 ディルハム	200,000 ディルハム
(6) 設立年月日	2003年10月	2004年12月
(7) 大株主及び持株比率	Platinum Investments (BVI) Ltd. 100%	SUNIL VASWANI 100%
(8) 上場会社と相手方の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。
	取引関係	蝶理マシナリー株式会社は、当該会社に輸送機器等の販売を行っております。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

## ※両社の関係

PLATINUM 及び RELIANCE (以下、2社合わせて「PLATINUM グループ」といいます。)の代表者は SUNIL VASWANI 氏で、両社は同一人物が代表者に就任しております。また、PLATINUM の 100%出資株主である Platinum Investments (BVI) Ltd. は SUNIL VASWANI 氏が大株主であり、両社は実質的に同一人物が大株主となっています。PLATINUM グループはドバイを中心に中東・アフリカ地域で貿易事業を展開しております。

### 3. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

債権の種類	債権金額等	貸倒引当金額	債権金額合計の連結純資産に対する割合
売上債権 (PLATINUM)	5,196 百万円	1,263 百万円	13.4%
売上債権 (RELIANCE)	4,496 百万円	1,162 百万円	
合計	9,692 百万円	2,425 百万円	

PLATINUM グループは、主力販売国であるナイジェリア共和国からの資金移動の制限が続き、蝶理マシナリーに対する支払い遅延が継続しています。

PLATINUM グループに対する債権については、債権の一部回収と為替レートの変動により、債権金額が 9,692 百万円 (外貨建て債権 USD70,821 千を為替レート 133.53 円で換算した 9,457 百万円及び日本円建て債権 234 百万円の合計) となりました。尚、上記債権金額に対し、株式会社日本貿易保険 (NEXI) の貿易保険を付保しております。

### 4. 変更の内容・理由

2022 年 7 月 26 日に開示しました「連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ (開示事項の経過)」において、債権金額は 10,354 百万円であり、当該債権金額に対する貸倒引当金は 1,035 百万円と見積もり計上しておりました。しかしながら、PLATINUM グループからの回収状況や経済情勢の変動を踏まえ、現状の保険求償見込み額が 7,266 百万円であることから、債権全額との差額である 2,425 百万円が当社グループの負担相当額と見積もりを変更しました。

### 5. 今後の見通し

PLATINUM グループは、ナイジェリア共和国からの資金移動に制限を受けているものの、現在も事業を継続しております。当社及び蝶理マシナリーは、引き続き売上債権の回収交渉に注力いたします。

当社は 2022 年 4 月 28 日開示の 2022 年 3 月期連結決算において、739 百万円の貸倒引当金繰入額を計上しました。上記 4. に記載の当社グループの負担相当額 2,425 百万円との差額である 1,685 百万円について、本日公表の 2023 年 3 月期連結決算において全額を貸倒引当金繰入額として販売費及び一般管理費に追加計上しております。

その後に判明する事象につきましては必要に応じ適時にお知らせいたします。

以上